

いざというとき、情報がなければ、避難などの判断や行動もできません！要チェック！

情報の入手方法を確認しましょう

①テレビ

避 気 他

データ放送リモコンのdボタンを押すとテレビ画面で情報を確認できます。



②ラジオ

避 気 他

「エフエムひこね (78.2MHz)」にて放送します。



③メール

避 気 他

彦根市メール配信システム

登録すると避難情報や避難所開設情報などの防災関係情報が自動的に配信されます。

メールアドレス: touroku@hikone-city.jp

※事前に登録が必要

エリアメール・緊急速報メール

彦根市域に滞在する人の携帯電話に地震、避難情報に関する情報等が強制的に配信されます。

対応キャリア:NTTドコモ、KDDI (au)、ソフトバンク、楽天モバイル ※登録不要

※【登録方法】

[touroku@hikone-city.jp]に空メールを送信（通送料のみ利用者負担）し、受信メールのリンクから登録画面に進みます。

④SNS・アプリ

避 気 他

彦根市LINE公式アカウント

LINEのトークやメニュー機能を活用して各種情報を発信します。

アカウント名:彦根市

ID:@hikonecity



彦根市公式アプリ「ひこまち」

防災情報以外にも、ごみの出し方や子育ての情報など、暮らしに役立つ情報を確認できます。



アプリ「Yahoo!防災速報」

彦根市の避難情報や、気象情報、国民保護情報、地震情報等をプッシュ通知で受け取れます。



彦根市災害用Twitter

アカウント名:彦根市防災

ユーザー名:@bousai_hikone



避 避難情報 気 気象情報 他 その他・交通情報等

他にも、「⑤インターネット」（彦根市ホームページの緊急情報や、国・県が運用する防災情報など）や、「⑥よびかけ」（屋外の防災スピーカーや、市の広報車など）による情報があります。

自分が使いやすい手段で、災害時に情報を入手できるよう、事前に登録などが必要なものは準備しておきましょう！



ご夫婦ともに 防災士のお二人にインタビュー！

～防災やマニュアルの活用について大切なこと～

「防災士になるには」
（日本防災士機構ホームページ）▶



身近なものから備えるなど、できることから始めよう！



防災士会滋賀県支部 湖北・湖東ブロック

浅井 久之さん

普段から、防災について関心を持ち、危険なときはすぐに避難することを頭に入れておかないと、いざ災害が来たときに行動できません。

彦根市民防災マニュアル（以下、「マニュアル」）は、災害への備えについて詳しく書かれていますが、一度に全てを熟読することはなかなか難しいと思います。ですので、せめて「日頃の備え」について書かれているページ（マニュアルp3～p6）は、今すぐにでも、必ず目を通していただきたいです。マニュアルは、リビングなど普段から手に取りやすい場所に保管し、防災の日（9月1日）や東日本大震災が発生した日（3月11日）などの節目の機会にご家庭で取り出して、備蓄品のチェックなどに活用してみてください。

防災への備えは、初めから完璧を目指すのではなく、一人ひとりができることから始めていくことが大事です。皆さん、まずは身近なものを備えることからやってみましょう。

地域で、みんなで、事前の備えを考えてみませんか？

地域の防災に関する取り組みには、まだまだ女性や外国籍の方の参画が多くありません。新しいマニュアルは、重要な箇所にはふりがなが付いているなど、やさしい表現で老若男女・国籍問わず見ていただける工夫がされていますので、地域の中でも幅広い層の皆さんに活用していただけたらと思います。

防災士会では、地域の防災力を高めるためには、事前の準備がもっと必要ではないかと考えています。このマニュアルにも掲載されている「マイ・タイムライン」は、事前に何をしておけばよいのかを考えるきっかけとなり、風水害だけでなく、昨年末のような大雪のときなどにも応用できます。

それぞれの家庭や地域で、空振りを恐れず、みんなで事前の準備をしていただきたいと思います。



防災士会滋賀県支部 湖北・湖東ブロック

浅井 華代さん

防災士がオススメする

彦根市民防災マニュアル活用法

お子さんと一緒に！

ひこにゃんなど、親しみやすいイラストや画像が掲載されているので、家族と一緒に見てみましょう。みんなで考えるきっかけになります。



自治会で活用できる！

自治会などで冊子を持ち寄って、自分たちの地域の災害リスクを確認するだけでなく、ハザードマップをもとに過去の災害や地域の歴史などについても話してみましょう。